

令和 7 年度 事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から

令和 8 年 3 月 3 1 日まで

学校法人ひじり学園

1. 法人の概要

名 称 学 校 法 人 ひ じ り 学 園 （ 昭 和 4 1 年 9 月 1 4 日 法 人 設 立 ）

代表者 理事長 安達 譲

住 所 豊中市新千里北町3丁目2番1号

設置する認定こども園

○幼保連携型認定こども園 せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園

豊中市新千里北町3丁目2番1号

○幼稚園型認定こども園 ひじりひがし幼稚園

箕面市1丁目7番1号

設置する保育園

○ひじりとよかわ保育園

箕面市粟生間谷西1丁目2番1号

○ひじりんの森保育園

豊中市新千里東町3丁目6番地103号

役 員	理 事	7 名
	監 事	2 名
	評議員	13 名
	理事会	2 回開催
	評議員会	2 回開催

2. 事業の概要

①せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園

＜＜教育方針＞＞

一人ひとりを大切にする。力強く生きる力を育てる。

人や自然との関わりの中で自己肯定感（自尊感情）や意欲を育てる。

<<教育内容>>

恵まれた自然の中で、自分の興味関心のあることに取り組める環境を大切に。

また、先生や友達と一緒に活動することの楽しさを十分に味わえるようにする。

<<園児数>> 5月1日時点

せんりひじり幼稚園（幼児）

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		計	園児数計 (2号)
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			5	125 (24)	5	140 (24)	5	150 (24)	15	415 (72)
令和5年度			5	109 (24)	5	137 (24)	5	127 (24)	15	373 (72)
令和6年度	1	15	5	119 (32)	5	121 (24)	5	137 (24)	16	392 (80)
令和7年度	1	15	5	126 (31)	5	129 (31)	5	127 (24)	16	397 (86)

ひじりにじいろ保育園（乳児）

定員	0歳児		1歳児		2歳児		園児数計	
	6		20		24		50	
実員	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月
令和5年度	5	9	20	20	24	24	49	53
令和6年度	6	9	20	20	24	24	50	53
令和7年度	6	9	20	20	24	24	50	53

《職員構成》

園 長	1 名	副園長	1 名
主幹保育教諭	3 名		
保育教諭	7 0 名	保育補助	1 4 名
調理員	6 名	事務員	8 名
体操教諭	1 名	看護師	1 名
		栄養士	2 名
		用務員	2 名

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時 土曜日 休園

《基本保育料》

利用者負担金 各市で定められた額

《入園諸経費》 入園検定料 5,000円

《特定徴収》

施設整備費	[3歳児] 年額	90,000円
	[4歳児] 年額	60,000円
	[5歳児] 年額	30,000円
教育充実費	[3歳児] 年額	11,500円 (2号14,500円)
	[4歳児] 年額	9,500円 (2号12,500円)
	[5歳児] 年額	8,500円 (2号11,500円)

《実費徴収》

給食費	月額	6,500円 (2号 8,800円)
光熱費	月額	700円 (2号 1,400円)
行事費	[3歳児] 年額	0円
	[4歳児] 年額	1,250円
	[5歳児] 年額	8,400円

《一時預かり保育、延長保育》

誰でも通園制度 (つくし：2歳児)	1,219人
一時預かり保育：	566人 + 他市 46人
延長保育：0歳～5歳児	3,411人

《行事実施状況》

遠足、懇談会、七夕ウィーク、アートフェスタ、運動会、お店屋さんプロジェクト
表現発表会、ひじりカーニバル、カルタ会、こま回し大会、めちゃビー大会、お
泊まり保育、卒園式、

《施設関係》

園地面積 6,000㎡ 運動場面積 1,800㎡

《設備関係》

備品類の総点検を実施し、更新の有無を判断する。

②ひじりひがし幼稚園

《教育方針》

一人ひとりを大切にする。力強く生きる力を育てる。人や自然との関わりの中で自
己肯定感（自尊感情）や意欲を育くむ。

《教育内容》

異年齢の中で自分の興味関心のあることに取り組める環境を大切に、また、先生や
友達と一緒に活動することの楽しさを十分に味わえるようにしています。

《保育時間》

月火木金曜日 午前9時～午後2時半 水曜日 午前9時～午前11時半
土曜日 休園

《基本保育料》

利用者負担金 1号、2号認定ごと、各市で定められた額

《入園諸経費》 入園検定料 5,000円

《特定徴収》

施設整備費

[3歳児] 年額 80,000円

[4歳児] 年額 60,000円

[5歳児] 年額 40,000円

教育充実費

[3歳児] 月額 8,000円（2号 9,500円）

[4歳児] 月額 6,000円（2号 7,500円）

[5歳児] 月額 5,000円（2号 6,500円）

《《実費徴収》》

給食費	月額	4,800円(2号 7,300円)
光熱水費	月額	650円(2号 1,000円)
バス代	月額	3,800円(利用者のみ)
行事費	実費	

《《一時預かり保育、延長保育》》

一時預かり保育 なし 延長保育 50人

《《行事》》

遠足、ぼうけんの日、かぞく懇談会、運動会、ひりじんまつり、
みんなで作ろう DAY、お店屋さんプロジェクト、表現発表会、チャレンジ登山、
お泊り保育、卒園式

《《施設関係》》

園地面積 2,158㎡ 運動場面積 972㎡

《《設備関係》》

備品類の総点検を実施し、更新の有無を判断する。

園庭の環境整備、植樹等を実施

《《園児数》》 5月1日時点 () 内は2号

	3歳児	4歳児	5歳児	クラス数計	園児数計
利用定員	36(6)	36(6)	36(8)	4	108(20)
令和5年度	35(8)	36(8)	38(8)	4	105(22)
令和6年度	31(6)	35(9)	35(8)	4	101(23)
令和7年度	36(7)	37(6)	35(9)	4	108(22)

※異年齢4クラス

《《職員構成》》

園長	1名	副園長	1名
主幹教諭	2名		
教諭	17名(兼1名)	ホームクラス担当	5名(兼1名)
栄養士	1名	調理員	4名
バス・園内環境	1名	バス添乗	1名
事務	2名		

③ひじりとよかわ保育園

目 的	子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視すること。 全ての子どもの個性を尊重し質の高い教育・保育を提供する。 保護者とともに、子どもの成長の喜びを共有すること。
-----	---

開園日数、 開園時間等	年間開園日数	2 9 2 日	土曜日の開所 有
	開園時間等	開所時間	7 時 00 分 ～ 19 時 (12 時間)
		保育時間	7 時 30 分 ～ 18 時 30 分 (1 1 時間)
延長保育の実施	☒ 有 ☐ 無	18 時 30 分 ～ 19 時 00 分 (30 分)	
休日保育の実施	☐ 有 ☒ 無		
一時預かり保育	☒ 有 ☐ 無	9 時 00 分 ～16 時 00 分 (7 時間)	

《施設関係》

屋内面積 9 9 m² 運動場面積（代替地）1,800 m²

《設備関係》

備品類の総点検を実施し、更新の有無を判断する。

《園児数》

定員 19 人	0 歳児		1 歳児		2 歳児		合計	
	4 月	3 月	4 月	3 月	4 月	3 月	4 月	3 月
令和 5 年度	0	3	8	9	6	8	16	20
令和 6 年度	2	4	9	9	9	9	20	22
令和 7 年度	2	2	9	10	9	9	20	21

《職員構成》

園長	1 名		
主任保育士	2 名	保育士	1 4 名（兼任 1 名）
保育補助	0 名	栄養士	1 名（ひがし兼任）
調理員	2 名	事務員	1 名

④ひじりんの森保育園

目 的	子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視すること。 全ての子どもの個性を尊重し質の高い教育・保育を提供する。 保護者とともに、子どもの成長の喜びを共有すること。
-----	--

開園日数、 開園時間等	年間開園日数	292	土曜日の開所 有	
	開園時間等	開所時間	7 時 00 分 ～ 19 時（1 2 時間）	
		保育時間	7 時 00 分 ～ 19 時（1 2 時間）	
延長保育の実施	☒ 有 ☐ 無 18 時 00 分 ～ 19 時 00 分（1 時間）			
休日保育の実施	☐ 有 ☒ 無			
一時預かり保育	☒ 有 ☐ 無 9 時 00 分 ～16 時 00 分（7 時間）			

＜＜施設関係＞＞

屋内面積 177.83 m² 運動場面積（代替地 もくせい公園）5,300 m²

＜＜設備関係＞＞

備品類の総点検を実施し、更新の有無を判断する。

＜＜園児数＞＞

定員 20人	0歳児		1歳児		2歳児		園児数計	
	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月
令和5年度	3	3	7	8	8	9	18	20
令和6年度	3	3	8	8	9	9	20	20
令和7年度	3	3	8	8	9	9	20	20

＜＜全職員の配置計画＞＞

施設長1名・主任2名・保育士10名・保育補助2名・看護師2名・栄養士1名
給食2名・事務員1名

3. 事業報告

せんりひじり幼稚園

① 子育て支援 未就園児クラスおよび満3歳児クラスの運営

- ・「誰でも通園制度」事業の推進 前年度に引き続き、2歳児の未就園児を対象とした定期利用クラスを実施した。本取り組みを通じ、保護者間の交流促進や未就園家庭への子育て支援において顕著な成果を挙げ、2026年度からの本格実施に向けた円滑な接続を実現した。なお、本園の取り組み内容をこども家庭庁発行の冊子へ情報提供を行った。
- ・満3歳児クラスの運営 7月生まれまでの園児15名を受け入れ、集団生活における育ちを支援することで、次年度4月の年少組入園に向けたスムーズな移行に繋がった。

② 預かり保育および教育課程の充・実

- ・**預かり保育の質的向上と連携** 利用希望者の増加に伴う質の維持・向上を目的とし、「預かり保育会議」を定期的に開催した。会議を通じ、異年齢で構成される預かり保育での育ちが、通常教育時間（14時まで）での育ちと相乗効果を生み、遊びや情報の連携が図られていることを確認・共有した。
- ・**保育実践の可視化と外部への事例提供** 預かり保育において子どもの育ちを促す環境構成や保育者の関わりを可視化・言語化し、2026年の幼児教育実践学会でのポスター発表に向けた検討を開始した。また、文部科学省委託調査における事例集発行にあたり、本園の預かり保育の事例を提供した。
- ・**「月の姿の振り返り（カリキュラム会議）」の継続実施** 毎月継続して実施している本会議において、学年ごとに子どもの姿についての理解を深め、教育課程に連動・反映させる取り組みを推進した。

③ 研究発表・研修等を通じた専門性の向上

・各種学会・大会での研究発表

○大阪府私立幼稚園連盟 第32次プロジェクト「多様な子どもたちがつながり合う保育を目指して」の研究グループに職員が参加し、大研大会および近研大会にて研究成果の発表を行った。

○日本保育学会（5月）「幼児の人間関係における葛藤の経験と成長～保育者の介入方法に着目した3年間の子どもの姿と変化～」をテーマにポスター発表を実施した。

○幼児教育実践学会（8月）保育者同士が子どもの姿を語り合い理解を深める営み「子どもステップ会議」について、担任の語りを起点としたチームでの対話を通じ、個々の保育観・子ども観が深化していくプロセスを整理し、口頭発表を行った。

④ 支援を通じた実践の質向上

園内の各リーダーがECEQ®（Early Childhood Education and Quality）コーディネーターとして他園における公開保育の支援に参画した。外部への知見還元と同時に、客観的な視点を取り入れることで、自己の学びおよび自園の実践の質向上に努めた。

ひじりにじいろ保育園

「心が動いた写真」を通して子どもの育ちを捉え、その姿を可視化しながら、一人ひとりに必要な環境構成や援助を検討することを大切に保育を行った。また、前年度に引き続き「ゆるやかな育児担当制」を土台に、より家庭的で丁寧な関わりを目指し、少人数での生活を通して自立を支える環境や援助を工夫した。さらに、月齢にとらわれず、子どもの興味・関心に応じた遊びをクラスや年齢を超えて共に楽しむことを積極的に取り入れた。

2歳児クラスにおいては、幼児クラスとの連携を図りながら、段階的な移行を見据えた交流を実施した。年度末には、2歳児24名の関係性マップを作成し、子ども同士のつながりや育ちを共有する資料として、幼児クラスへの引き継ぎにも活用した。

また、職員の働き方改革についても継続して取り組み、休憩時間の確保やノーコンタクトタイムの設定により、勤務時間内に事務作業を行う意識と習慣が定着しつつある。今後も、保育の質の向上と職員の働きやすさの両立を目指し、取り組みを進めていく。

ひじりひがし幼稚園

日常の保育においては、子どもたちが主体的に生活や遊びを楽しめるよう、一人ひとりの育ちを丁寧に見取り、次の保育へと活かすよう心がけてきた。また、異年

齡で過ごす中で生活を自分たちで作りに上げていくことを意識し、年長児を中心に、かぞく（クラス）の困り感を解消して「よりよく」「豊かなものになる」よう話し合いを行ってきた

特別支援児への対応や園児の安全確保、日常での理解とサポートの難しさを感じ、中、職員の心身の健康も配慮し支援担当の交代制を取り入れながら、子ども理解に努め、その子に応じた関わりを大切にしてきた。また、保護者との懇談を通じて日々の活動や行事への参加の仕方などについて丁寧に説明を行い、理解と信頼関係の構築に努めた。

本年度は、従来の給湯室をカウンセリングルームへ改装したことで保護者との面談を落ち着いた空間で行えるようにし、職員会議などのスペースとしても多角的に活用しているほか、絵本室へのベンチや収納の設置により子どもたちが快適かつ安全に過ごせる環境を整え、水道設備の修繕や通路の段差補修によってベビーカーでもスムーズに通行できるバリアフリー化を実現した。

これに加え、R8 年度から新たな取り組みとなる、独立したクラスではなく異年齢の中で過ごす形態をとる満3歳児（4月～6月生まれ）、1歳児親子、誰でも通園制度をプレイルームに取り入れ保護者の実費負担を軽減するなど、新制度や多様なニーズに対応するための保育環境を整備した。

プレイルーム（2歳児子育て支援）では5月より親子登園を開始し、2学期からは母子分離、3学期には給食の提供を行った。週2回の実施ではあるが、段階的な取り組みにより、スムーズな入園準備ができるよう努め、各学期に開催した保護者との座談会では、子どもの成長を共に喜び、育児の悩みを分かち合う場を設けたことで、保護者と園との信頼関係が深まり、4月からの本格的な入園への良い移行期間となった。加えて、とよかわ保育園から進級予定の子どもたちが園に遊びに来る機会を設け、保育者が子どもたちの様子を確認しながら情報交換を行うなど、スムーズな接続保育にも繋がる取り組みとなった。

他園での公開保育や各種研修会への参加を通して、新たな視点を得て保育への理解を深める機会を持ち、特に大妻女子大学の岡先生を招いた園内研修では、「子ど

ものの育ちを読み取る」ワークを重ねることで、子ども理解をより深めることができた。またまた若手育成という課題に向き合い、先輩職員が日常の中で声をかけ合いながら一緒に保育を振り返る時間を大切にし、経験の浅い職員が少しずつ自信を持てるようサポートしてきた。職員全員が同じ視点で子どもたちを見守り、職員で相談し合いながら、一人ひとりにじっくり寄り添える環境づくりに努めたが、引き続き継続して関わっていく。

ひじりとよかわ保育園

子どもたちの生活が安定してきた時期より、クラス（年齢）の枠を超えて、子どもの興味・関心に応じた遊びや活動を選択できる「流動的保育」を実施した。子どもが自ら遊びを選べるコーナーの設置や環境構成の工夫、活動内容を職員間で共有を行い、主体的に遊び込める環境づくりに努めた結果、子ども同士の関わりや遊びの広がりが見られた。また、少人数保育の良さを活かしながら、子ども一人ひとりの気持ちや発達に応じて過ごす場所や関わり方を柔軟に調整し、全職員で子ども理解を深めながら安心して過ごせる環境づくりに取り組んだ。今後も、子どもの発達や興味・関心に応じて、クラス内での関わりを大切にしながら、より柔軟なクラス間交流が行えるよう保育内容の充実に努めていきたい。

保育内容においては、園外保育を通じて粗大運動の経験を十分に積むことができた一方、微細運動の機会が不足する傾向が見られた。今後は子どもの発達状況を踏まえ必要な経験を職員間で共有し、日々の保育の中にバランスよく取り入れていく。

外部講師を招いて実施した園内研修については、常勤職員だけでなく、可能な限り非常勤職員も参加できる体制づくりに努めた。研修後には、参加職員から「新たな気付きや振り返りの機会となった」といった声が聞かれるなど、研修参加への意識の高まりが見られた。また、子どもの育ちの理解や姿の読み取りに関する学びが深まり、職員間での共通理解の醸成につながる機会となった。今後も、全職員が共通の視点を持って保育にあたることができるよう、研修機会の充実と学びの共有を継続していきけるよう学園内研修や外部講座への参加への促進をすることで保育の質の向上に努めていきたい。連携施設であるひじりひがし幼稚園へ散歩に行くことで、子どもたちにとって安心して過ごせる場となるよう年間を通して関わりを持った。特に進級前には室内環境（保育室やトイレなど）にも触れる機会を設けることで、より安心感を高める

ことができた。また職員間においても相互理解を深める機会となるよう、つながりが持てるように取り組んでいきたい。

ひじりんの森保育園

ひじりんの森保育園は開園3年目を迎え、開園当初に0歳児で入園した子どもたち3名が修了を迎えた。子どもたちの成長を見届ける中で、園としても少しずつ歩みを積み重ねてきた一年であったと感じている。

昨年度は前年度の振り返りをもとに「チーム力を高めること」そして「保育をより楽しめるチームづくり」を大切なテーマとして取り組んできた。日々の保育の中で、職員ひとりひとりが自分の思いや考えを発信し、「やってみたい」と感じたことに挑戦できる雰囲気が少しずつ育ってきている。そうした職員の主体性や対話の積み重ねが、ひじりんの森らしい温かな保育や園の特色に繋がってきていると感じている。

また、年間5回実施の外部講師による研修では、子ども理解の基礎・基本を学びながら、保育を継続的に見直し、深めていく機会となっている。一つ一つを積み上げていく難しさも感じながらではあったが、保育の楽しさや奥深さに職員同士で語り合う時間が増え、「こんな保育がしたい」「子どもたちにこんな経験をさせてあげたい。」という前向きな声が少しずつではあるが自然と生まれるようになってきたことは大きな成長であった。

保育面では、ワンフロア保育の良さを活かし、年齢やクラスの枠にとらわれない柔軟な関わりを大切にしてきた。1歳児低月齢児が0歳児と一緒に過ごしたり、離乳食の進み具合に応じて食事の環境を調整したりするなど、一人ひとりの育ちや生活リズムに合わせた保育を実践した。子どもたちが安心して過ごせる環境を整えることで、それぞれのペースで成長していく姿を丁寧に支えることができたと感じている。

さらに、連携施設であるせんりひじり幼稚園への進級を控える中で、保護者が安心して進級を迎えられるよう、懇談会やホームクラス担当者との質疑応答の機会を設けた。子どもたちだけでなく、保護者の気持ちにも寄り添いながら進級への不安を少しでも軽減できるように努めてきた。

今後も職員同士でひじりんの森の良さや大切にしたい保育を共有しながら、子どもたち一人ひとりの育ちを丁寧に支える園づくりを続けていきたい。

4．経営状況

令和 7 年度の幼児教育・保育を取り巻く状況は、全国的な少子化の進行により就学前人口の減少が続く一方で、乳児保育、預かり保育、特別支援教育・保育、子育て支援等へのニーズは年々多様化・高度化しており、各施設には従来以上に専門性と柔軟性が求められる一年となった。また、こども家庭庁による「誰でも通園制度」の本格実施に向けた制度整備が進み、未就園家庭への支援や地域に開かれた教育・保育施設としての役割が一層重要視されるようになった。さらに、保育者不足や人件費・物価・光熱水費の上昇など、経営面においても厳しい状況が継続している。

こうした中、本法人では「一人ひとりを大切にする。力強く生きる力を育てる。」という教育理念のもと、各施設の特色や地域性を踏まえながら、教育・保育の質向上と安定した法人運営の両立に努めた。

教育・保育面においては、各施設の事業報告にもある通り、子ども理解を基盤とした保育実践の深化や園内研修の充実に取り組んだ。特に、せんりひじり幼稚園では、「子どもステップ会議」や「月の姿の振り返り（カリキュラム会議）」などを通して、保育者同士が子どもの姿を多面的に語り合いながら教育課程へ反映させる取り組みを継続した。また、日本保育学会でのポスター発表、幼児教育実践学会での口頭発表、大阪府私立幼稚園連盟の研究プロジェクトへの参加等を通じて、実践の言語化と外部発信を進め、教職員の専門性向上に努めた。

乳児保育施設においても、「心が動いた写真」を用いた子ども理解や、ゆるやかな育児担当制、異年齢・異クラスでの交流保育等を通じて、一人ひとりの発達や生活リズムに応じた丁寧な保育を推進した。また、職員間で保育を語り合う文化や、学びを共有する研修体制が徐々に定着しつつあり、保育の質向上と職員の主体性の両面において成果が見られた。

さらに、本年度はミドルリーダー育成にも重点を置き、園内外の研修参加を積極的に推進した。各園で実施した岡健先生をはじめとする外部講師による継続的な園内研修や、ECEQ®公開保育への参加、ファシリテーション研修、メンタルヘルス研修等を通じて、子ども理解だけでなく、組織づくりや対話的な園文化形成に必要な力量形成を進めた。また、新任職員に対しては、姉妹園と共同で編集したフィロソフィーブックを活用した内定者研修等を実施し、保育者としての土台づくりと早期離職防止にも努めた。

一方で、少子化や地域の就学前人口の変化の影響は継続しており、特に幼稚園部門

においては園児確保が今後の大きな課題となっている。そのため、ひじりひがし幼稚園では、令和 8 年度より満 3 歳児保育や 1 歳児親子クラス、誰でも通園制度への対応など、未就園段階からの子育て支援の充実に取り組み、地域との接点を広げながら安定した園運営に向けた体制整備を進めた。

財務面においては、事業活動収入計は 1,087,102,295 円、事業活動支出計は 930,997,136 円となり、基本金組入前当年度収支差額は 156,105,159 円となった。また、翌年度繰越収支差額についても、前年度△468,635,177 円から△326,737,708 円へ改善し、財務基盤の安定化が進んだ。

貸借対照表においては、資産合計は 1,756,474,669 円となり、現金預金残高は 353,726,785 円と前年度より増加した。また、借入金返済を計画的に進めた結果、固定負債は減少し、純資産は 1,520,382,306 円となるなど、法人全体として一定の財務改善が図られた。

一方で、今後も少子化の進行、人件費や物価・光熱水費の上昇、保育者確保の困難化、施設設備の更新費用増加等が見込まれており、引き続き慎重かつ計画的な財務運営が必要である。特に、教育・保育の質向上と職員の働きやすさの両立を図りながら、地域に必要とされる施設として持続可能な運営体制を構築していくことが重要な課題となっている。

今後も、子ども・保護者・職員それぞれにとって安心できる教育・保育環境を整備するとともに、変化する社会や制度に柔軟に対応しながら、地域に根ざした公の教育・保育機関としての役割を果たし、教育・保育のさらなる質向上に努めていきたい。

5. 研修の状況

せんりひじり幼稚園

2025年 令和7年度 せんりひじり幼稚園 研修						
日付	主催・研修会名	講座	講師名	会場名	時間	研修参加者名
	伊丹先生園内研修	支援児の関わり	伊丹昌一先生	園内	3 h	全員
5月10日1 1日	日本保育学会第78回大会	保育と学びのテクスチャー	基調講演 秋田喜代美先生	長野県立大学		園長・副園長・福岡・湯浅・谷邨
5月7日	ミドルリーダー研		安達譲園長	園内		園長・副園長・谷邨・行武
5月13日	岡先生園内研修		岡 健先生	園内	2.5h	全員
5月16日	ミドルリーダー研		安達譲園長	園内		園長・副園長・谷邨・行武
5月19日	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス対策におけるセルフケアとラインケアについて	産業医 甲斐沼孟	園内	1 h	全員

6月20日	伊丹先生園内研修	支援児の関わり	伊丹昌一先生	園内	3h	全員
6月27日	岡先生園内研修		岡 健先生	園内	2.5h	全員
6月28日	岡先生園内研修		岡 健先生	園内		全員
7月1日	豊中市子ども財団	実技研修わらべうた	大阪芸術大学准教授 津田奈保子 氏			山本・森田・吉田
7月13日	第3回乳児フォーラム	愛と知の循環としての保育実践	無藤 隆先生他	大阪保育総合大学		副園長
7月23日	令和7年度 幼稚園新規採用教員研修 第4回	これまでの実践を振り返る リズム運動		大阪府教育センター		山本・真鍋
7月24日	第39回近畿地区私立幼稚園教員研修大会 奈良大会	一人ひとりの「こどもがまんなか」をまもる質の高い幼児教育を～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～			3.5h	園長・副園長・湯浅・堀内・梅木・谷邨・福岡・行武・東浦・米田・藤原
7月24日	第39回近畿地区私立幼稚園教員研修大会 奈良大会 オンライン	一人ひとりの「こどもがまんなか」をまもる質の高い幼児教育を～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～				澤木・福原・安達光
8月4日	令和7年度 幼稚園新規採用者研修	新規採用者として1学期を振り返り、2学期からの視点や手立てを見出す	兵庫大学 教育学部教育学科 田邊 哲雄先生	大阪私学会館	3h	山本
8月19.20日	第16回幼児教育実践学会	一人ひとりの「こどもがまんなか」をまもる質の高い幼児教育を		東京家政大学	6.5h	園長・副園長・福岡・湯浅・堀内・谷邨・藤原
11月5日	河邊先生 園内研修	保育環境について	河邊貴子先生	園内	2h	全員
11月11日	岡先生園内研修		岡 健先生	園内	2.5h	全員
11月17日	伊丹先生園内研修	支援児の関わり	伊丹昌一先生	園内	3h	全員
12月5日	はま幼稚園主催 異年齢保育研究公開保育	はまよう流あそびをとことん考える			5h	安達光
12月12日	東豊中幼稚園ECEQ	東豊中幼稚園ECEQ		東豊中幼稚園	5h	梅木・嘉藤・岡竹
12月20日	R7年度 NPO 法人保育と仲間づくりネット冬期研修会	社会と向き合う冬期研 わたしとAIと保育と		豊中国際大学 豊中国際キャンパス	6h	園長・副園長・安達光 熊取谷・馬場・吉田・森田
1月15日	幼稚園新規採用教員研修	子どもの安全と危機管理 セルフマネジメント3			3h	山本・真鍋
1月19日	伊丹先生園内研修	支援児の関わり	伊丹昌一先生	園内	3h	全員
2月17日	ミドルリーダー研		安達譲園長	園内		園長・副園長・谷邨・行武
2月13日	木の実幼稚園造形展				3h	馬場・森田あ
3月25日	第68回大阪府私立幼稚園教育研究大会	今こそ集う喜びを、次の一歩に		グランフロント	4.5h	全員
	32プロジェクト				年間	谷邨・副園長
	33プロジェクト				年間	福原・副園長
	ECEQ 東豊中幼稚園	step1～step5				サブ Co 米田

ひじりにじいる保育園

2025 年度・令和7年 研修一覧						
日付	主催・研修会名	講座名	講師名	場所	時間	参加者
4月4日	学園研修会	5施設園内研修	水上 茜先生	せんりひじり幼稚園	2h	正職員
5月13日	園内研修	子どもを観る視点・週月案(乳児)	岡 健先生	ひじりにじいる保育園	2h	正職員
5月13日	園内研修	育ちの解釈 (幼児) ファシリテーション	岡 健先生	せんりひじり幼稚園	2h	木地・清板・十念・日野・秦

5月14日	園内研修	子ども理解	岡 健先生	ひじりとよかわ保育園	4h	木地・清板・櫻井
5月14日	園内研修	マッピングによる子ども理解（幼児）	岡 健先生	ひじりひがし幼稚園	4h	木地・清板・櫻井
5月15日	豊中市	乳児保育～応用性を高める人的・物的環境～	大阪芸術大学短期大学部教授 瀧 薫先生	人権平和センター豊中	2h	木地・清板
5月19日	園内研修	メンタルヘルス対策	甲斐沼武先生	本園ホール	1h	正職員
6月24日	豊中市	保育環境ガイドライン	埋橋先生	人権平和センター豊中	2.5h	木地・清板
6月27日	園内研修 （乳児施設合同）	子ども理解・マッピング（乳児）	岡 健先生	ひじりにじいろ保育園	4h	正職員
6月27日	園内研修	教育課程を考える1（幼児）	岡 健先生	せんりひじり幼稚園	2h	木地・清板・日野・秦・鍋野
6月28日	園内研修 （5施設合同）	写真で語るワーク（乳児）	岡 健先生	せんりひじり幼稚園	4h	正職員
6月28日	園内研修	教育課程を考える2（幼児）	岡 健先生	せんりひじり幼稚園	4h	正職員
7月1日	豊中市子ども財団	わらべ歌の秘密を知ろう	津田 奈保子先生	豊中市人権平和センター	2h	坂本・櫻井
7月8日	大阪府私立幼稚園連盟	教材研究シリーズ対話研修会「こどものことばに触れる」	津田 澄佳先生	大阪私学会館	3h	緒方・矢野
8月4日	大阪府	度新任保育者交流研修会	田辺 哲雄先生	大阪私学会館	3h	松原
8月5日	豊中市	豊中こども財団 新規採用者研修会		豊中市立文化芸術センター	2h	矢野
8月19日/20日	全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	第16回幼児教育実践学会	武蔵野大学教育学部 幼児教育学科 箕輪潤子先生 他	東京家政大学	6.5h	木地・秦
9月9日	園内研修	子ども理解 百面相（乳児）	岡 健先生	ひじりにじいろ保育園	2h	正職員
9月9日	園内研修	保護者支援について（乳児）	岡 健先生	ひじりんの森保育園	2h	木地・清板・棚原・鍋野
9月9日	園内研修	子ども理解・ファシリテーション（幼児）	岡 健先生	せんりひじり幼稚園	2h	木地・清板・櫻井・秦
9月10日	園内研修	子ども理解・写真で語る（乳児）	岡 健先生	ひじりひがし幼稚園	2h	木地・清板・鍋野・櫻井・渡部・秦
9月24日	あけぼの保育園	公開保育		あけぼの保育園	5	木地・坂本
9月17日/10月22日/11月12日/12月20日/1月21日	大阪府私立幼稚園連盟	ファシリテーターブリーディング研修	秦 賢志先生	大阪私学会館	毎回 4h	秦
9月24日/10月11日/11月29日	教育課程の編成講座		大妻女子大 岡先生	オンライン	毎回 4h	鍋野
11月5日	園内研修	保育環境について	河邊 貴子先生	ひじりにじいろ保育園	1h	全員
11月11日	園内研修	1年目 1on1（乳児）	岡 健先生	ひじりんの森保育園	2h	木地
11月11日	園内研修	子ども理解 マッピング・ロジックツリー・遊びのドット図・週案会議の進め方（乳児）	岡 健先生	ひじりにじいろ保育園	3h	正職員
11月11日	園内研修	子ども理解（幼児）	岡 健先生	せんりひじり幼稚園	2h	木地・松原
11月12日	園内研修	連絡帳振り返り（乳児）	岡 健先生	ひじりひがし幼稚園	2h	木地・櫻井・矢野・鍋野
11月12日	園内研修	ファシリテーションスキル（幼児）	岡 健先生	ひじりひがし幼稚園	2h	木地・鍋野

11月18日	大阪府私立幼稚園連盟	ミドルリーダー研修会		大阪私学会館	3h	日野
12月20日	保育と仲間づくりネット	令和7年度保育と仲間づくりネット 冬期研修会		関西国際大学 神戸山手キャンパス	7h	木地・日野・秦・鍋野
2月17日	園内研修	記録からキーワードを抽出（乳児）	岡健先生	ひじりにじいる保育園	2h	正職員
2月17日	園内研修	新任育成	岡健先生	せんりひじり幼稚園	2h	木地・清板・日野・秦・鍋野
2月18日	園内研修	写真から育ちを考える（乳児合同）	岡健先生	ひじりとよかわ保育園	2h	木地・鍋野・棚原
2月18日	園内研修	子ども理解と環境構成	岡健先生	ひじりひがし幼稚園	2h	木地・鍋野・棚原

ひじりひがし幼稚園

2025年度・令和7年 研修一覧 ひがし

日付	主催・研修会名	講座	講師名	会場名	時間	研修参加者名
4月22日	箕面市マネジメント研修	保育現場におけるマネジメントと人材育成	津村薫先生	箕面市役所	2h	中島
5月10日 11日	日本保育学会 第78回大会	保育と学びの テクスチャー	基調講演 秋田喜代美先生	長野県立大学		中島
5月14日	岡先生園内研修	こども理解	岡健先生	園内	3h	全員
5月19日	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス対策におけるセルフケアとラインケアについて	甲斐沼孟先生	せんりひじり幼稚園	2h	全員
5月29日	幼小架け橋研修	架け橋カリキュラムの活用	瀧川光治先生	箕面市役所	2h	中島
6月13日	大私幼	ECEQ公開保育 念法幼稚園		念法幼稚園	7.5h	水川
6月27日	岡先生園内研修	教育課程とは	岡健先生	せんりひじり幼稚園	2h	南・池原 中嶋・新谷
6月28日	岡先生園内研修	写真からよみとく こども理解	岡健先生	せんりひじり幼稚園	5h	全員
7月8日	大私幼	こどものことばに触れる	津田純佳先生	大阪私学会館	3h	北島・水川
7月24日	第39回近畿地区私立幼稚園教員研修大会 奈良大会	一人ひとりの「こどもがまんなか」をまもる質の高い幼児教育を～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～	基調講演 AIそしてVUCA時代における人間のしあわせについて	ホテル日航奈良	5h	全員

8月4日	大私幼	R7年度新規採用者研修	田辺哲雄先生	大阪私学会館	3h	國武・村山
8月4日	幼小架け橋研修	主体的・対話的で深い学びの実現について	瀧川光治先生	箕面市役所	2h	中島
9月10日	岡先生園内研修	こども理解	岡健先生	園内	2h	全員
11月5日	園内研修	保育環境について	河邊貴子先生	せんりひじり幼稚園	2h	北島・國武
11月12日	岡先生園内研修	こども理解	岡健先生	園内	2h	全員
11月18日	大私幼	保育を促す役割としてのミドルリーダー		大阪私学会館	2h	新谷・松野
12月5日	はま幼稚園主催 異年齢保育研究 公開保育	はまよう流あそびを とことん考える		はま幼稚園	5h	池原・北島
12月12日	公開保育	東豊中幼稚園		東豊中幼稚園	7、5h	中嶋
12月20日	R7年度NPO法人 保育と仲間づくり ネット冬期研修会	社会と向き合う冬期研 わたしとAIと保育と		関西国際大学 神戸山手 キャンパス	6h	中島
12月26日		日本人の食事摂取基準に ついて	瀧本秀美先生		2h	森田
2月18日	岡先生園内研修	こども理解	岡健先生	園内	2h	全員
3月25日	第68回大阪府私立 幼稚園教育研究大会	今こそ集う喜びを、 次の一歩に		グランフロント 大阪	4.5h	全員
5月7日 5月16日 6月12日 6月20日	園内研修	ミドルリーダー研修	安達譲	せんりひじり 幼稚園	2h	新谷・松野
5月26日 12月22日 3月16日	箕面市教育委員会	幼児教育アドバイザー 交流会		箕面市立市民会館	1、5h	中島
年間	大私幼 第33次プロジェクト	子育て支援の取り組み	田辺昌吾先生	大阪私学会館	2h	中島
年間	ECEQ 鶴見幼稚園	step1～step5	Co 杉本先生	鶴見幼稚園		サブ Co 中島

ひじりとよかわ保育園

研修日	主催・研修会名	講座	講師名	会場名	時 間 数	参加者数
4月4日	園内研修	5 施設園内研修	岡 健先生	せんり	2 h	下江・高森・松田
4月22日	マネジメント研修	職場におけるマネジメントと人材育成	津村 薫先生	箕面市市役所	3h	下江
5月13日	園内研修	乳児合同研修	岡 健先生	せんり	2~5h	下江（午前午後）松田（午後）
5月14日	園内研修		岡 健先生		2h	下江・高森・松田・山下・前田
5月19日	メンタルケア研修		甲斐沼孟先生	せんり	1h	下江・高森・山下・前田
5月26日	箕面市保育幼児教育センター	幼児教育アドバイザー交流会			1.25 h	下江
6月27日	園内研修	乳児合同研修	岡 健先生	せんり	2 h	下江・山下・前田
6月28日	園内研修	施設合同研修	岡 健先生	せんり	5h	下江・高森・松田・山下・前田
7月8日	大私幼	こどものことばに触れる～対話からひもとく表現の世界～	津田 澄佳先生	とよかわ		前田
9月9日	園内研修		岡 健先生	せんり	2h	下江・前田
9月10日	園内研修	乳児合同研修	岡 健先生		2h	下江・高森・山下・前田
9月24日	箕面市保育幼児教育センター	”わたし”から始める園づくり～園長のあり方が園の未来を考える～	青木一永先生	箕面市役所	3h	下江
11月11日	園内研修		岡 健先生	せんり	2h	松田
11月12日	園内研修	乳児合同研修	岡 健先生	ひがし		下江・高森・山下・前田
11月15日	乳児保育研修会	「私たちの捉え違いから学んだ乳児保育～40年の実践を振り返って」	安家尚子先生	私学会館	2h	下江
12月5日	はまようちえん公開保育	公開保育		はまようちえん	6h	山下
12月12日	ECEQ 公開保育 STEP4	公開保育		東豊中幼稚園	6h	下江（サブ co）
2月17日	園内研修	にじいろ	岡 健先生	せんり	2h	高森・山下
2月18日	園内研修	とよかわ・ひじりん	岡 健先生	とよかわ	1.5h	全員

		の森合同				
9月17日 10月22日 11月12日 12月17日 1月21日	ファシリテーター・リーダーシップ連続研修	ファシリテーター研修	秦 賢志先生	大阪私学会館	4h×5日	松田

ひじりんの森保育園 2025年・令和7年度 研修一覧

日付	主催・研修会名	講座	講師名	会場	時間	研修参加者名
4月4日	学園研修会	5施設園内研修	岡 健先生	せんり	2	正職員
4月15日	合同園長会	保育所部会・保育所乳児部会		生活情報センターくらし館	1.5	小野寺
5月13日	園内研修	子どもを観る視点 (乳児)	岡 健先生	各施設にて	2	正職員
5月14日	保健研修会	救命措置について	日本赤十字社 指導員	豊中市芸術文化センター	2.5	岸田
5月14日	園内研修	子どもを観る視点 (乳児)	岡 健先生	各施設にて	2	正職員
5月19日	園内研修	メンタルヘルス対策	甲斐沼武先生	本園ホール	1	正職員
6月27日	園内研修	子どもを観る視点 (乳児)	岡 健先生	各施設にて	2	正職員
6月28日	園内研修	写真で語るワーク (乳児)	岡 健先生	各施設にて	2	正職員

7月1日	豊中市子ども財団	わらべ歌の秘密を知ろう	津田奈保子先生	豊中市人権平和センター	2	坂東
8月4日	ゆたかな学び	新任研修	田邊哲雄先生	私学会館	3	坂東
9月5日	豊中市子ども財団	保育の質を考える	大豆生田啓友先生	エトレとよなか	2	小野寺
9月9日	園内研修	保護者支援について（乳児）	岡 健先生	各施設にて	2	正職員
9月10日	園内研修	子ども理解（乳児）	岡 健先生	各施設にて	2	正職員
9月24日	あけぼの保育園	公開保育		あけぼの保育園	5	山口
11月13日	豊中市子ども事業課	感染症対策について	豊中市	人権平和センター	2	西田
11月19日	豊中市子ども事業課	食物アレルギーについて	海老島優子先生	人権平和センター	2	岸田・坂東
12月5日	はまようちえん	公開保育		はまようちえん	7	田村
12月9日	豊中市こども事業課	対応力を育てる 保護者対応	福井未来先生	人権平和センター	2	小野寺
11月11日	園内研修	1年目1on1（乳児）	岡 健先生	各施設にて	2	正職員
11月12日	園内研修	連絡帳振り返り（乳児）	岡 健先生	各施設にて	2	正職員
2月17日	園内研修	記録からキーワードを抽出（乳児）	岡 健先生	各施設にて	2	正職員
2月18日	園内研修	写真から育ちを考える（乳児）	岡 健先生	各施設にて	2	正職員

青色青光

黄色黄光

赤色赤光

白色白光

